



2022年2月7日

株式会社立花商店 生田 渉

## (新) 週刊カカオニュース 58号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。  
今週のカカオニュースを配信させていただきます。

### 1、カカオ先物相場分析：

#### ■ロンドン3月



先週のコートジボアールの天候情報で乾燥がひどく、ミッドクロップに懸念が浮上しているというニュースを受けて相場は反発し、上記の3月限月、下記の5月限月のチャートの通り、先週2月1日（火）に大きく上げてそのまま強気の相場となった。トレンド的には今週買いが多く、RSIやSTOCHの通り、まだ完全な買われ過ぎとまではいかないものの、過去1年のような実需での大きな変化のない中でのトレンドパターンであれば、このあたりの付近かもしくはもう少し上の付近で一度下方に導かれることが期待される。

ただ、今回は需給の実態としてカカオ相場は今後も更に強気で推移してもおかしくない状況にある。供給面ではコートジボアールのミッドクロップの懸念、ガーナのメインクロップの遅れと不作懸念、ナイジェリアの作柄の下方修正など不安材料に事欠かない。一方で需要サイドは健全性を完全に取り戻しており、各大陸の

磨砕数量はコロナ以前の水準を超えて、更にハーシー社、リント社などチョコレートなどの代表的な企業の業績も好調だ。

また、相変わらず為替も不透明であり、ポンド高、ドル安に加えて、円安ドル高でロンドン市場からポンドでカカオ取引して、ドル転、円転という為替の変更を経る取引の場合が多い日本企業の場合はコスト高になりやすい状況も我々日本市場にとっては難しい展開。

一般的なトレンドの範囲であれば3月限月は1800ポンド手前で、5月限月は1850ポンド手前くらいで抵抗を受けて下げる見立ても出来そうだが、今回は供給がタイトな懸念が大きいことを背景に、小さな下げはありつつも、今後3か月くらいの中期的な展開としては、5月限月で1900ポンド超えていく展開、更には瞬間的に2000ポンドを目指すような展開も出てくる可能性もあるかもしれない。よって、値決めの深追いはリスクも伴うのではないかと個人的には懸念している。

過去1年間のデータ上では、突発的な上げトレンドの場合、トレンド2週間くらいで上がって下がっての一山になる場合、もう大きめの場合は1か月くらいが一山の場合もある。**(下記の5月限月の赤字を参照)**よって、5月限月、7月限月のポジションの場合はまだ数回の山の動きがあると思うが、手前の3月限月などはかなり高値で期限切れを迎える可能性も高くなってきたと感じる。今週の火曜日までのポジションレポートで、先週どのくらい投機筋が買いポジションを増やしてこの強気の相場となっていたのが個人的には気になるところ。来週に向けて分析してみます。

生産国や生産者の事を考える際には、高値のカカオが悪いわけではなく、生産者が持続的にカカオ生産を継続できることは必要不可欠であり、それに対する対策も待たなしの状況である。ただ、カカオニュースでのカカオ先物価格においては、相場で価格が決められているカカオ豆、カカオ製品の特性上、買い付ける場合の良いタイミングを探る視点、もしくは高値になりすぎる買い時を避ける視点にて、コメントをしております。

#### ■ロンドン5月：



## 2、ナイジェリアの21/22のカカオ豆の生産量は推定32万トンから28万トンへ下方修正(2/4)

ナイジェリアの2021年10月から2022年9月のシーズンの生産数量の予測は28万トンに達すると推定され、以前よりココア協会がナイジェリアで予測していた32万トンを大きく下回ることとなった。

一方で、コロナウイルスによる混乱で需要が回復したため、ナイジェリアのカカオ輸出は2021年の最初の8ヶ月間で前年比43.5%増の100,779トンになったと報告された。コロナウイルスの蔓延を抑制するための政府による対策が昨年の輸出を妨げ、未出荷豆の滞留を生み、一部はラゴス港や全国の倉庫に滞留していた。

## 3、米国、チョコレート会社・ハーシー、10-12月期は増収増益 予想上回る(2/4)

菓子大手の米ハーシーが3日発表した10-12月期(第4四半期)決算は、増収増益となった。値上げが寄与し、費用の増加を打ち消した。純利益は3億3560万ドル、1株利益は1.62ドル。前年同期の2億9140万ドル、1.39ドルからそれぞれ増加した。

調整後1株利益は1.69ドルで、調査会社ファクトセットがまとめたアナリスト予想の1.61ドルを上回った。売上高は前年同期の21億9000万ドルから23億3000万ドルに増加した。アナリスト予想は22億7000万ドルだった。22年通期について、ハーシーは売上高を8~10%増と予想した。調整後1株利益は9~11%増を見込んだ。

## 4、ナイジェリアのカカオ生産者協会、6つの地域で加工工場を設立と発表(2/6)



ナイジェリア・ココアおよびプランテイン(≒食用バナナ)生産者協会(CPFAN)は、「国内の6つの地政学的地域全てにカカオもしくはプランテイン用の食品加工工場を設立する計画を決定した」と。同協会の全国会長であるアヨデレ・オジョは、オンド州都のアクレで開催された同協会の2周年記念式典で、このように述べた。

彼は、協会が、この2つの作物の栽培が盛んな各州での栽培を改善するために、あらゆるレベルで政府の援助を求めていると説明しました。アヨデレは、ムハマド・ブハリ大統領による同協会の設立当初からの支援を称賛し、現在協会として、農場を強化するためにアンカー借入金計画(Anchors borrowing program=ABP)から25億ナイラ(≒約7億円)を要求していると明かしました。

\*ABP は、連邦政府がナイジェリア中央銀行（CBN）を通じて2015年に開始した農業融資制度である。農業の収量を上げ、大量の食料輸入を食い止め、負の貿易収支に対処するために考案された。

彼は、この資金は5月にリリースされる予定で、同生産者団体の26の州のメンバーに分配されるだろうと述べました。

「私たちは現在、連邦の26の州で、6万人以上の会員を擁しています。現在、26州、6万人以上の会員がいます。お金が出れば、会員の能力に応じて分配されるでしょう」とアヨデレは言いました。

アナンブラ州代表のヘレン・マドゥさんは、CPFANが50万本のカカオの苗を生産していることを明らかにし、「CPFANは、カカオの苗を生産しています。また、カカオとプランテインの苗木栽培用の農場を所有しています。

彼女は、「現在、私たちはNnewiにカカオ豆の加工工場を建設中です。私たちは、ココア飲料の生産を開始したいと考えています。エンウグでの発表会では、私たちの飲料が振る舞われました。同様に、アワカでの落成式でも、私たちの製品が振る舞われました」。

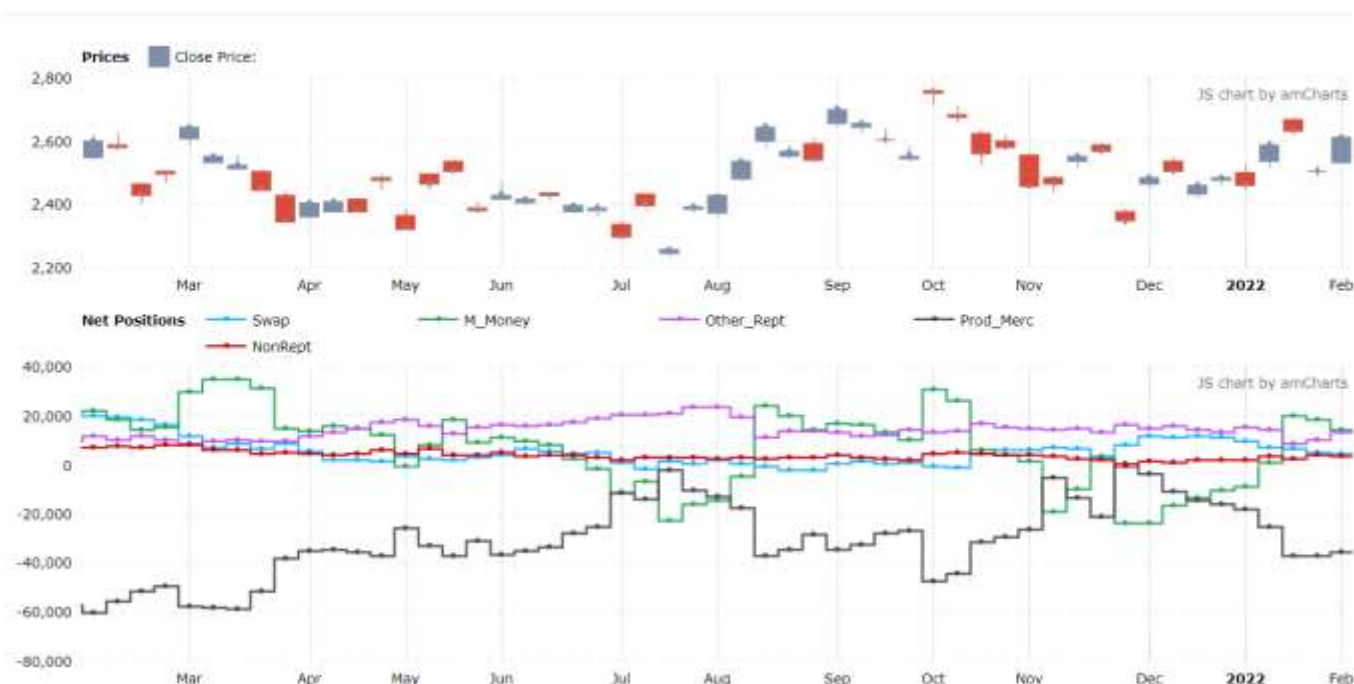
## 5、ファンド勢のNYカカオ先物は純買い越しポジションを減らす - 3週ぶりの低水準(2/5)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋（Managed Money）は今週、純買い越しポジションを2,491ロット減らし、14,735ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、（今週で言えば、2月1日）の取引が含まれている。

- 純買い越し数量は過去3週間で一番低い数字。
- 総買い数量は先週より3,683ロット減少、46,562ロットで、過去3週で一番少ない数字
- 総売り数量は先週より1,192ロット減少し、31,827ロットとなった。

## 参考分析資料；過去1年のNY市場の各プレイヤーのポジションと相場価格

### Prices & Net Positions



## 6、投機筋、ロンドン先物は純買い越しポジションが減少 (2/5)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 1,677 ロット減らして、17,281 ロットとなったことが、ICE 欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、2月1日)の取引が含まれている。

- 買いポジションの総量は2月1日までで、前週より 3,022 ロット減少し、30,343 ロットとなった。
- 売りポジションの総量は2月1日までで、前週より 1,345 ロット減少し、13,602 ロットとなり、売りポジションだけの総量では過去3か月で最も少ない数字。

### 参考資料) LDN 市場の全プレイヤーのポジション一覧の分析

Commitments of Traders		Futures only								
ICE Futures Europe										
01/02/2022										
MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money			
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading	
01/02/2022	276561	167275	220883	38165	13005	3882	28178	13219	12671	
Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader										
01/02/2022	100%	60.5%	79.9%	13.8%	4.7%	1.4%	10.2%	4.8%	4.6%	
Number of Traders in Each Category										
01/02/2022	131	46	40	13	6	9	20	20	17	

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 [w-ikuta@tachibana-grp.co.jp](mailto:w-ikuta@tachibana-grp.co.jp)

\*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではございません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。